

ふっこう訓練通信



令和7年12月／発行：葛飾区都市整備部都市計画課（担当：田上・山本・石塚）／電話：03-5654-8382

第3回 青戸地区震災復興まちづくり訓練を実施しました！

11月20日（木）18時半から「青戸地区 第3回 震災復興まちづくり訓練」を開催しました。

ふっこう訓練通信第3号では、「第3回訓練」の様子をお伝えします！

当日の資料などは、区のホームページでご覧いただけます。

トップページ>暮らし・手続き>安心・安全>防災・国民保護>震災復興まちづくり訓練について

ホームページへの
アクセス
はこちらから



第3回訓練（令和7年11月20日）

～被災後の『都市』の復興を考えよう～ の概要

第3回訓練の内容

- (1) 第2回訓練の振り返り
- (2) 講義「被災後の『都市』の復興を考えよう」
- (3) グループワーク
 - ①復興の手がかりを探そう
 - ②被災後の「都市」の復興を考えよう
- (4) 発表
- (5) 解説

第3回訓練では、地域の方々33名にご参加いただき、「被災後の『都市』の復興を考えよう」の講義の後、「①復興の手がかりを探そう」、「②被災後の『都市』の復興を考えよう」について、グループワークで話し合いました。グループワークでの主な意見は以下をご覧ください。

(1) グループワーク く ①復興の手がかりを探そう

STEP 1 まちあるき報告



↓まちあるき報告への主な意見

STEP 2 復興の手がかりについて意見交換

第2回訓練にて実施した班ごとに、被害が予想される箇所、地区の復興で重要となる課題や残して利活用したい資源などを話し合いました。



↑グループワークの様子

地区東側	1班	<ul style="list-style-type: none"> ○年1回の防災訓練では、公園のかまどベンチを使いシチューや豚汁をふるまう ○道路が狭いうえに入り組んでいる ○狭い道路沿いのブロック塀は倒壊が心配 	2班	<ul style="list-style-type: none"> ○防災倉庫や井戸がある公園は、災害時や避難生活時の資源となる ○家が密集して道路が狭い地区は消防車が入れるようにした方が良い
	地区西側	3班	<ul style="list-style-type: none"> ○中青戸小学校にはプールの水の浄化装置がある。知られていないので周知すべき ○エアコンの室外機がブロック塀より上にある場所があり、落下の不安を感じる 	4班

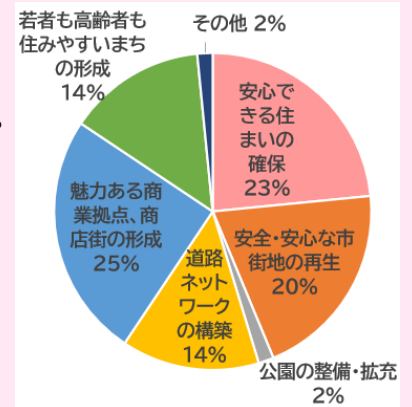
(2) グループワーク 〈 ②被災後の「都市」の復興を考えよう 〉

STEP 1 復興まちづくり方針を検討する

STEP 2 必要な都市機能を考える

参加者が自治会長になったつもりで、青戸地区の「復興まちづくり方針」について、ワークシートの選択肢から選び、その理由を意見交換しました。主な意見は次の通りです。※「○」の色は円グラフの選択肢に対応しています

- 住まいは生活の基本。すみやかに確保したい。
- 大火災の被害を契機とし、まちを根本的に変え、災害に強いまちに。
- きちんとした道路網がある安全な市街地になると、救える命も増える。
- 火災リスクがないように、公園は残してほしい。
- 消防車が入れて、消防活動を可能にする道路網整備を行うべき。
- 飲み物や食料品の心配がないと、がんばろうという気持ちになれる。
- 商業拠点があることで、雇用も生み出される。
- 若い人が街にいないと復興に動き出せないのでは。
- 地区から人が出て行かないようにしたい。



次に、復興までに必要となる都市機能について、意見交換しました。主な意見は次の通りです。

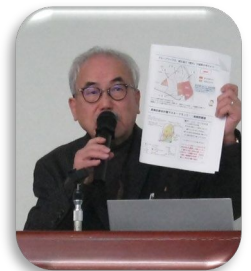
- 仮設の店舗：遠くまで行くのは難しい。近くで食料品を販売してほしい。必要な物が手に入る仮設商店街がほしい。
- 仮設の集会施設：一人にならないような施設、しゃべる所があるのは大事。
- その他：仮設保育園や交流施設。病院。

仮設の店舗	14
仮設の集会施設	8
福祉仮設住宅	3
仮設の工場、作業所	1
その他	2

(3) 解説 東京都立大学 中林 一樹 名誉教授

住まいだけでなく“まち”をどうするか ～都市全体の復興～ を考える

土地区画整理事業は道路確保など被災地の基盤整備に有効ですが、減歩を伴うため住民合意が課題となります。阪神・淡路大震災では、非焼失地区も含めて全員で減歩負担を分かち合い、一斉再建を実現しました。時限的市街地とは、仮設の住宅・店舗・仕事を集めた一時的な市街地を整備し、被災者が地域を離れず生活再建できる仕組みで、自治体が、公共用地を活用するほか2013年創設の被災地短期借地権制度を用いて民有地を最長5年間借り上げることで、この“仮の街”を形成することが可能になります。東京都はこの考え方を提案し、災害時に住まいと生業支援を一体化した仮設の市街地を構築して復興まちづくりを進める方針を示しています。



解説の様子

今後の訓練スケジュール

会場：青戸地区センター4階ホール
時間：18時30分～20時30分

※多くの方に参加いただいておりますので会場変更いたしました。

▶第4回訓練 令和8年1月28日(水)「青戸地区震災復興の進め方」をまとめよう

※次回訓練からもご参加いただけます。下記よりお申込みください。多くの方のご参加をお待ちしております。
※既にお申込みいただいた方は再度のお申込みは不要です。

参加申込シート (FAX 送信用) 葛飾区 都市整備部 都市計画課 宛 FAX: 03-3697-1660

フリガナ
お名前

TEL
メール
アドレス

住所 〒

※託児サービスをご希望の方のみご記入ください

お子様の人数 性別 年齢

WEBでお申込みの方はこちら



二次元コードを読み込み、必須事項にご回答ください。

【申込締切】1/27(火)まで

※ FAX 送付の方は必要事項をご記入のうえ、この紙面をお送りください。 ※収集した個人情報は本訓練以外の目的では使用いたしません。

当日は、事前に本訓練に申し込まれた方のお子様だけに託児サービスをご利用いただけます。

託児サービスを希望する方は、お子様の「人数、性別、年齢」をご記入ください。(対象年齢1歳～10歳まで)

なお、託児サービスは、会場をパーティションで区切った隣室で実施します。

※申込後、区より確認の連絡をさせていただく場合がございます。

【託児ご希望の場合の申込締切】12/26(金)まで